

B 豊かな人間性や社会性の育成

1 令和8年度滝沢市「滝沢魅力学」の推進



1 滝沢魅力学のねらい

滝沢を知り、よいところを見つけ、さらに、滝沢の魅力を再発見し、子供たちの学びを深め、滝沢への郷土愛を育成することを目指す。

2 滝沢魅力学推進計画

令和8年度

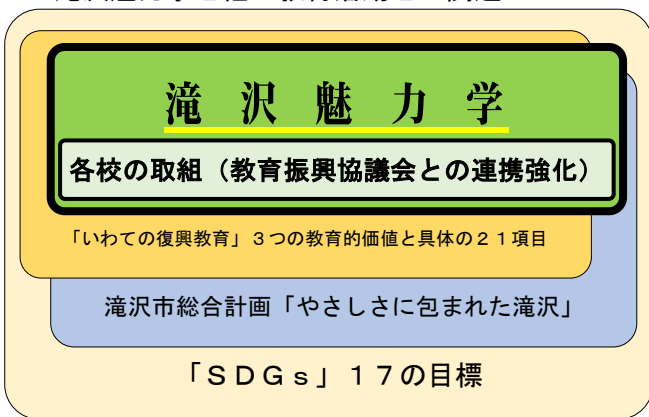
学校教育振興協議会との連携強化、キャリア教育・復興教育との関連推進	
令和8年度は、学校教育振興協議会との連携を強化し、地域人材を活用しながら、児童生徒の主体的な取組を実施する中で、キャリア教育・復興教育との関連を図る。	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育振興協議会との連携推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域人材と協力し、地域の「魅力」発掘 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中の系統性の整理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の系統性や表現技能の系統性を整理
教育委員会の取組	学校教育振興協議会の役割
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校の取組を情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 冊子の作成 ・ HP、市広報を活用 → 積極的に地域に周知することで、児童生徒の自己肯定感・所属感の向上を図る ○ 総合的な学習の時間推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習等の講師の招聘 ○ 復興教育支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災地訪問のバス利用や講師招聘 ○ 社会科副読本・滝沢市のあゆみの活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育活動への支援 ○ 豊かな体験活動の充実 ○ 学校・家庭・地域との連携・協働 <div style="margin-left: 20px;"> ⇒ 協力 ← <ul style="list-style-type: none"> 自治会 民生児童委員 P T A ・ 子 ども 会 地域団体・企業等 </div>

令和7年度

学校教育振興協議会との連携・協働

各校の取組（抜粋）			
篠木小学校	大沢田植踊り学習、篠木神楽学習	姥屋敷小中学校	ムラサキ学習会、サツマイモの栽培
滝沢小学校	滝沢スイカ学習、伝統さんさの継承	柳沢小中学校	そば作り体験、豆腐作り体験
滝沢第二小学校	滝沢山車祭の学習、滝沢さんさ学習	滝沢南中学校	農業講話、農業体験
鶺鴒小学校	滝沢リンゴ学習、山の幸染め体験	滝沢第二中学校	農業体験、地域の環境美化活動
一本木小学校	滝沢リンゴ学習、そば作り体験	一本木中学校	一本木さんさの継承、農業体験
滝沢東小学校	川前神楽の学習、光太鼓の継承	滝沢中学校	農業体験、元村さんさ踊り
滝沢中央小学校	岩手山学習、滝沢さんさの継承		

3 滝沢魅力学と他の教育活動との関連



「滝沢魅力学」とは、「郷土を愛する心を育む」ことを目指すものである。岩手県においては、「いわての復興教育」として郷土学習に取り組んでおり、広義としては「SDGs」（世界で取り組むべき17の目標）にも通ずる。さらには、第2次滝沢市総合計画のテーマである「やさしさに包まれた滝沢」とも重なるものである。（左図参照）

このように、「滝沢魅力学」として、これまでの各校独自の郷土学習の取組を推進することで、「いわての復興教育」「SDGs」に取り組むこととなり、郷土に対する誇りや愛着をもつとともに、豊かな体験活動を通じ、郷土に対して主体的にかかわろうとする心や態度を育むことを目指すものである。

【図】他の教育活動等との関連 重なりイメージ